

## 主要損害保険会社の令和2年3月期決算の概要

### 1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、火災保険の販売好調などから、前年に比べ増加。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、大規模な国内自然災害が2年連続で続いた影響や、有価証券売却益の減少などから、前年に比べ減少。

（単位：億円）

	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期	前年比
正味収入保険料	98,604	98,031	99,976	1,944
経常利益	6,983	9,061	7,140	▲1,920
特別損益	▲21	▲385	▲1,702	▲1,317
親会社株主に帰属する当期純利益	5,780	6,139	5,253	▲886

### 2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、株価下落に伴う、その他有価証券評価差額金の減少などから、前年度末に比べ9.3%ポイント低下。

（単位：%）

	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	764.6	756.6	747.3	▲9.3Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。